

# 特産品と伝統芸能一堂に 遊・SEA・牛窓エーゲ海フェスティバル

古来から、内海航路の要衝として栄え、港町を中心に歴史を積み重ねてきた牛窓は、明るい陽光と美しい海のイメージ、オリーブの木の風情から「日本のエーゲ海」とも呼ばれています。

「遊・SEA・牛窓エーゲ海フェスティバル」は、牛窓の産業や歴史・文化が一堂に集うイベントです。

11月21日、出島公園に設営された舞台で、綾浦太刀踊、粟利郷太刀踊、唐子踊（いずれも牛窓伝統芸能で県指定文化財）が披露されました。

これらの踊りは毎秋、地元の子どもたちが地元の神社や地域で舞うもので、一堂に会するのはエーゲ海フェスティバル時のみ。子どもたちの真剣な舞に、観客の皆さんから大きな拍手が送られました。長森千代さん（42歳・岡山市）は、「10月の祭り時は来ら

れず、ここで唐子踊を見るのができて良かった。これまで知らなかった地域の踊りも見ることができた」と、満足した様子でした。

会場では、地域の皆さんが TENT を連れ、牛窓の海の幸・山の幸、地元産の野菜や魚介類を使った栄養汁、ねぎ焼き、かき飯などを販売。

交流コーナーでは、牛窓と交流のある長崎県対馬市や北海道幌加内町が出席し、特産物を販売。「幌加内そばを楽しみにして来た」という人も。

34 団体がそれぞれ会場内の交流・特産品・バザー・食べ物・体験・お楽しみコーナーに分かれて出店し、フェスティバルを盛り上げました。

地域を挙げての取り組みは、訪れた皆さんにも好評で、大勢の皆さんが目当ての品を求め、行列を作っていました。

この日、ここを訪れた皆さんにエーゲ海フェスティバルの感想を直撃インタビューしました。一部を紹介します。

## 声



牛窓中学校ボランティアスタッフ  
前列左から獅々堀陽君、田中博之君、後列左から北村はるなさん、近成優さん、柴田佳恵さん、森川ますみさん

### 獅々堀陽君

人の役に立つのがうれしいです。これからも自分たちができることがあれば、ぜひ参加したいです。

### 森川ますみさん

市になって初めて牛窓であるイベント。来てくれた人を楽しんでほしかったので、手伝いができてよかったです。



牛窓地区婦人会長  
平野五香さん =写真右=  
(71歳・牛窓町牛窓)

瀬戸内市になっても、市内外からたくさんのお客さんが来てくださって大変うれしいです。これからもこのイベントをずっと続けてほしいですね。毎年来てくださるお馴染みさんがいたり、レシピも聞かれたりと、人のふれあいが楽しいですよ。これからも牛窓がもっと活気付くように、みんなが頑張らないといけませんね。



飯山太一さん =写真右=  
(37歳・牛窓町鹿忍)

これだけ多くの人が集まることはそうそうないので、もっと地産地消をアピールしていきたいといけませんね。



独特の化粧と衣装で踊る唐子踊



捕れたての魚介類などが人気を呼んでいました



元気に踊る綾浦太刀踊



太刀を手に舞う粟利郷太刀踊



梶田幸子さん =写真右上= (35歳・岡山市)  
オリーブ以外の特産品は知りませんでした。牛窓の特産品をPRする、よいイベントですね。新鮮な野菜など安く買うことができ、催しも楽しいです。